障害者の理解進んでほしい

橋本慎太郎14＝中学生（阿蘇市）

2学期、職場体験学習で僕は「夢屋」と「阿蘇きぼうの家」に行きました。どちらの体験先も障害者の方々の自立を支援する地域活動支援センターです。5日間あったうち3日間は「夢屋」に行きました。夢屋の障害者の方々は知的障害という障害のある方々でした。3日間、僕はその従業員の人たちと遊んだりパン作り、配達などを通して親しむことができました。

僕は夢屋代表の宮本誠一さんに「仕事で特に力を入れているところはどういうことですか」と聞いてみました。宮本さんは「パン作りを通して仲間たちとつながり、勇気を持ってほしい」と答えられました。

職場体験での残りの2日間は「阿蘇きぼうの家」に行きました。初めて行くので緊張もありました。また、どのような障害なのか、よく分からないままでした。

実際その方たちとお会いしてみると、普通の方々とかわらない方々がおられました。従業員の方たちは精神障害ということですが、障害で差別を受けることがあるそうです。僕は障害についてもっと伝えたいと思いました。